

3学期の漢字

たしかめ 36

177	176	175	174	173
炭	投	曲	代	帳
炭火で焼き肉、炭酸ジュースも飲む。	剛速球を投げるプロの投手。	曲線は、曲がりくねった線のこと。	品物を買う代わりに払うお金が代金。	連絡帳に明日の予定を書く。

たしかめ 37

182	181	180	179	178
院	宮	丁	宿	羊
けがをして病院に入院した。	宮城県は東北地方にある。	三丁目十八番地。	宿屋には、宿泊客がいっぱいだ。	羊が草を食べている。

たしかめ 38

187	186	185	184	183
乗	君	反	等	礼
乗車券を買って電車に乗った。	太郎君、君の好きな食べ物なあに？	決まりに反する行いをしない。	等分とは、等しい大きさに分けること。	お礼の言葉、「ありがとう」。

たしかめ 39

192	191	190	189	188
受	打	究	研	庭
病院で受診して薬を受け取る。	打者がヒットを打って試合に勝った。	大学で学問を究める。	昆虫研究者のファールブル。	昼休みは校庭や中庭で遊んでいる。

## たしかめ

36

177	176	175	174	173
すみびで	剛 <small>ごう</small> そつきゅうを	きよくせんは、まがりくねった	しなものをかう	連絡 <small>れんらく</small> ちように
焼きにく、たん酸 <small>さん</small> ジュースも	なげる	せんのこと。	かわりに払 <small>はら</small> う	あすのよていを
のむ。	プロの		おかねが	かく。
	とうしゅ。			

## たしかめ

37

182	181	180	179	178
けがをして	みや城 <small>き</small> けんは	さんちようめ	やどや	ひつじが
びよういんに	とうほくちほうに	じゅうはちばんち。	には、しゆく泊 <small>はく</small> きやくが	くさを
にゆういんした。	ある。		いつぱいだ。	たべている。

## たしかめ

38

187	186	185	184	183
じようしゃ	た郎 <small>ろう</small> くん、	きまりにはんする	とうぶんとは、	おれいの
券 <small>けん</small> を	きみの	おこないを	ひとしい	ことば、「
かって	好きな	しない。	おおきさに	ありがとう」。
でんしゃに	たべもの		わけること。	
のった。	なあに？			

## たしかめ

39

192	191	190	189	188
びよういんで	だしゃが	だいがくで	昆 <small>こん</small> ちゆうけん	ひるやすみは
じゅ診 <small>しん</small> して	ヒットを	かくもんを	きゆうしゃの	こうていや
くすりを	うって	きわめる。	ファールブル。	なかにわで
うけとる。	試 <small>し</small> あいにか			あそんでいる。
	った。			

197	196	195	194	193
箱	神	実	追	島
ダンボール箱に荷物を詰める。	大昔の神様の話を神話という。	柿の実を食べたのは、実は僕だ。	犯人の後を追ひ、追跡する。	日本列島は四つの大きな島。

200	199	198
身	他	湯
全身が筋肉痛で身動きできず。	他の町に行けば、知らない他人ばかり。	湯をわかしてお茶を入れる。

197	196	195	194	193
ダンボールばこににもつを詰める。	おおむかしのかみさまのはなしをしんわという。	柿 <sup>かき</sup> の <sup>み</sup> を <sup>た</sup> べ <sup>た</sup> の <sup>は</sup> 、 <sup>じ</sup> つ <sup>は</sup> 僕 <sup>ぼく</sup> だ。	犯 <sup>はん</sup> に <sup>ん</sup> の <sup>あ</sup> と <sup>を</sup> お <sup>い</sup> 、 <sup>つ</sup> い <sup>跡</sup> <sup>せき</sup> する。	にほんれっとうはよっつのおおきなしま。

200	199	198
ぜんしんが筋 <sup>きん</sup> にく痛 <sup>つう</sup> でみうごきでぎず。	ほかのまちにいけば、知らないたにんばかり。	ゆをわかしておちやをいれる。